

事務連絡

平成19年7月19日

新潟県
新潟市
長野県
長野市

障害保健福祉主管部（局） 御中

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部

企画課地域生活支援室

平成19年新潟県中越沖地震で被災された視聴覚障害者等への避難所等における
情報・コミュニケーション支援について

平成19年新潟県中越沖地震により被災された視聴覚障害者等に対する情報・コミュニケーション支援については、平成19年7月17日付事務連絡「新潟県中越沖を震源とする地震により被災した要援護障害者等への対応について」において万全の対応をお願いしているところです。

しかし、視聴覚障害者等は、その障害特性から情報取得や他者とのコミュニケーションが特に困難な状況となり、ボランティア等による支援やホワイトボード等の機材を使用した有効な支援の必要性が高まります。

つきましては、避難所等における視聴覚障害者等に対する情報・コミュニケーション支援等について、具体的な方法や配慮等の例を別添のとおり情報提供致しますので、引き続き、視聴覚障害者等の状況・ニーズの把握に努め、ボランティアや関係団体等と連携を密にし、特段の御配慮をお願い致します。

避難所における視聴覚障害者等に対する情報・コミュニケーション支援について(例)

・避難所において、視聴覚障害者への理解を求める。
・視聴覚障害者に対する情報・コミュニケーション支援への協力を呼びかける。

視覚障害

聴覚障害

安否の確認
被災地域の要支援者を確認

・放送やハンドマイク等を使用し、避難所及び周辺地区で、声をかけて確認。

・プラカードを使用し、避難所及び周辺地区で確認。「聞こえない人はいませんか？」など
・手話通訳者、要約筆記者などは腕章等を着用。「手話できます」「『耳マーク』の活用」など

ニーズの把握
障害特性に応じた支援内容

・障害の程度(全盲・弱視など)や情報取得方法(点字・音声・拡大文字など)等を確認し、必要な支援を把握する。

・障害の程度(聞こえの状態など)や情報取得方法(手話・文字・補聴器など)等を確認し、必要な支援を把握する。

関係者との連携
避難所における活動

・行政、視覚障害者協会、視覚障害者情報提供施設、保健師等が連携し、ボランティアを効果的に活用する。

・行政、聴覚障害者協会、聴覚障害者情報提供施設、手話通訳者、要約筆記者、保健師等が連携し、ボランティアを効果的に活用する。

避難所の説明
トイレや風呂、配給場所など

・ボランティア等を活用し、場所や使用方法、状況の変化などを適切に伝える。

・ボランティアやホワイトボード等を活用し、場所や使用方法、状況の変化などを適切に伝える。

情報の共有
食料・救援物資の配給など

・放送やハンドマイク等を使用し、必要に応じて個別に対応する等、最新の情報を確実に伝える。
(悪い例:「張り紙を見て下さい。」など)

・プラカードやホワイトボード等を使用し、必要に応じて個別に対応する等、最新の情報を確実に伝える。
(悪い例:「1時の放送を聞いて下さい。」など)

機材・物品
共用品・消耗品の手配など

・ラジオ
・テレビ(解説放送)
・乾電池(ラジオなど) 等

・テレビ(字幕・手話放送)
・ホワイトボード(設置型、携帯型)
・補聴器用電池 等